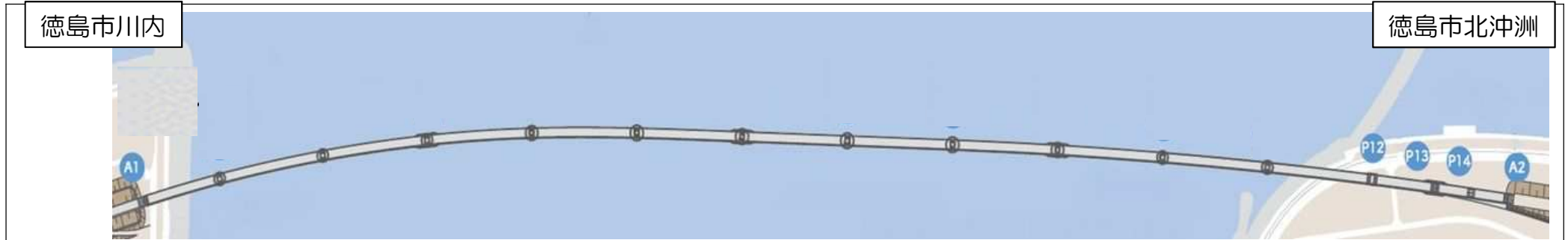

2. 工事の実施状況 (令和2年11月～現在)

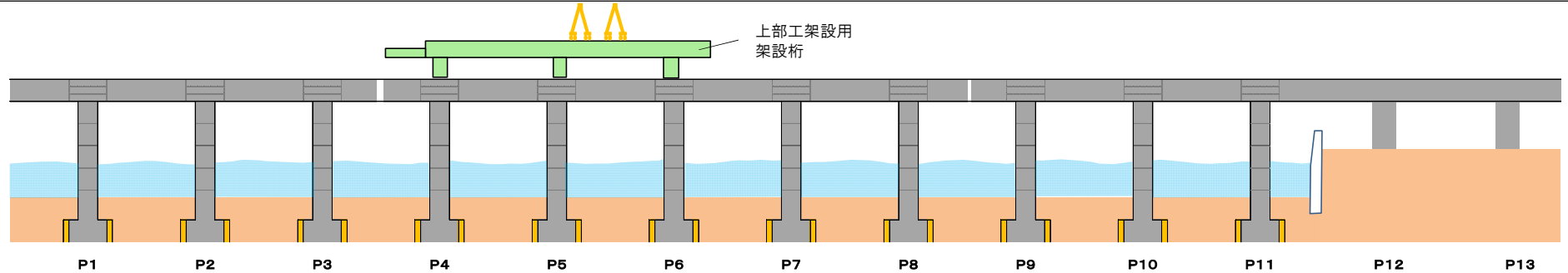
2-1 工事の実施状況



平成28年11月より開始した工事の実施状況を以下に示す。 ※全ての橋脚・セグメント架設が完成。



進捗状況図



※上部工架設の進捗率 架設済490個/全数490個=100%
 ●右岸側：架設桁による架設 [328個/328個] 進捗率 100%
 ●左岸側：エレクションノーズによる架設 [162個/162個] 進捗率 100%

工程表

項目	平成27年度	平成28年度				平成29年度				平成30年度				平成31年度/令和元年度				令和2年度				令和3年度			
		1/四	2/四	3/四	4/四	1/四	2/四	3/四	4/四	1/四	2/四	3/四	4/四	1/四	2/四	3/四	4/四	1/四	2/四	3/四	4/四	1/四	2/四	3/四	4/四
下部工	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
セグメント製作																									
上部工																									

現在



■2-2 工事の実施状況



吉野川河口部の全景



■2-3 工事の実施状況

令和2年11月より開始した工事の実施状況を以下に示す。

- ① 陸上部及び河川内の全ての橋脚が完成。
- ② エレクションノーズによる架設は、全て張出架設は完了。
- ③ 架設桁による架設は、全ての張出架設完了。(残るは閉合作業)
- ④ 架設桁の解体作業及び橋面工を実施。

架設桁



エレクションノーズ



架設桁



エレクションノーズ



■2-4 工事の実施状況



プレキャストセグメント製作ヤード状況

第一製作ヤード状況（沖洲）



第一製作ヤード：解体作業中

第二製作ヤード状況（津田）

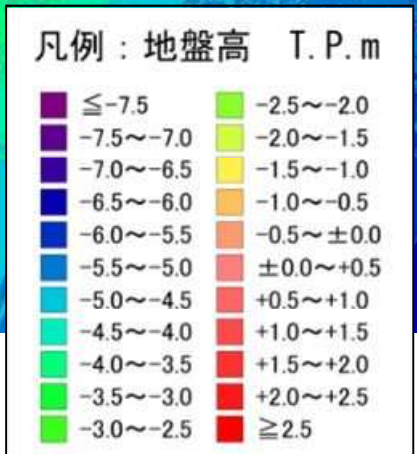
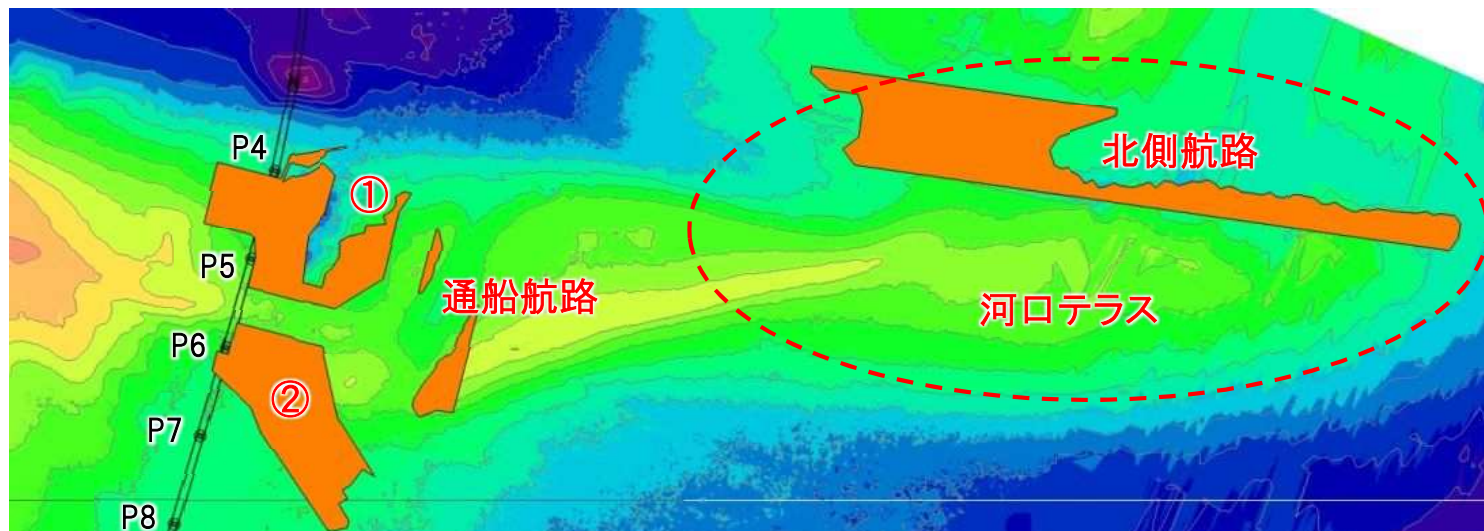


第二製作ヤード：解体作業中

■ 2-5 第6期工事の渇水期に実施した浚渫



第6期工事（令和2年度渇水期）に実施した浚渫の土量及び面積について、第5期工事（令和元年度渇水期）で大規模に浚渫した箇所の埋め戻しによる浚渫が生じた。また、今期も河口テラスに土砂が広く堆積したため、広い範囲での北側航路の浚渫も生じた。



- 第2期工事
 - ・浚渫土量 109,868m³
 - ・浚渫面積 70,218m²
- 第3期工事
 - ・浚渫土量 63,632m³
 - ・浚渫面積 37,933m²
- 第4期工事
 - ・浚渫土量 124,021m³
 - ・浚渫面積 76,500m²
 - (うち、18,978m²が北側航路)
- 第5期工事
 - ・浚渫土量 80,988m³
 - ・浚渫面積 167,000m²
 - (うち、86,012m²が北側航路)

■ 第6期工事の浚渫土量及び面積

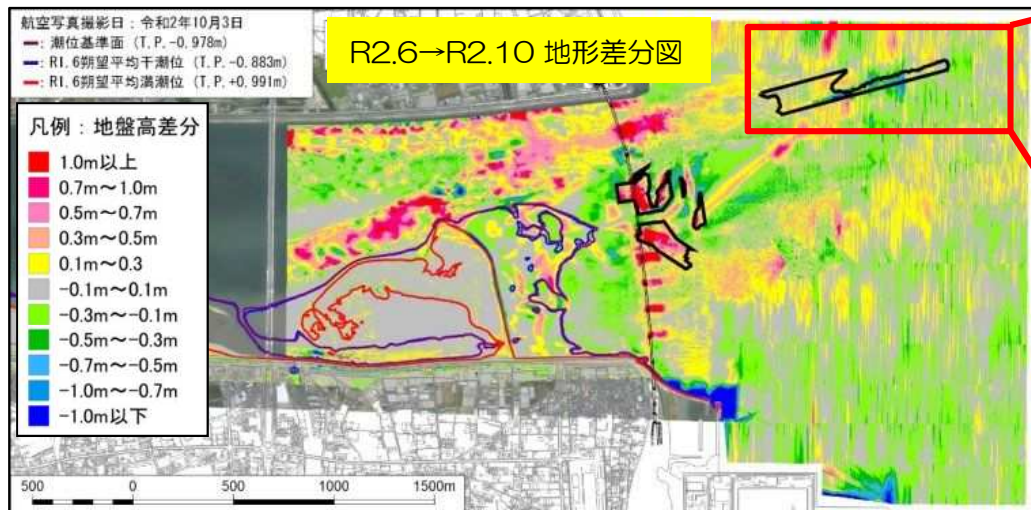
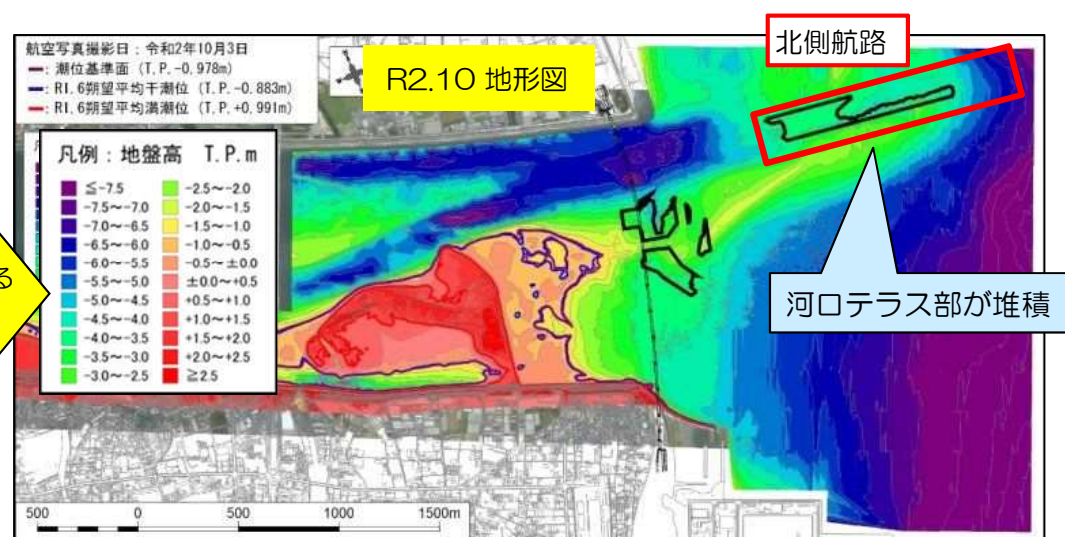
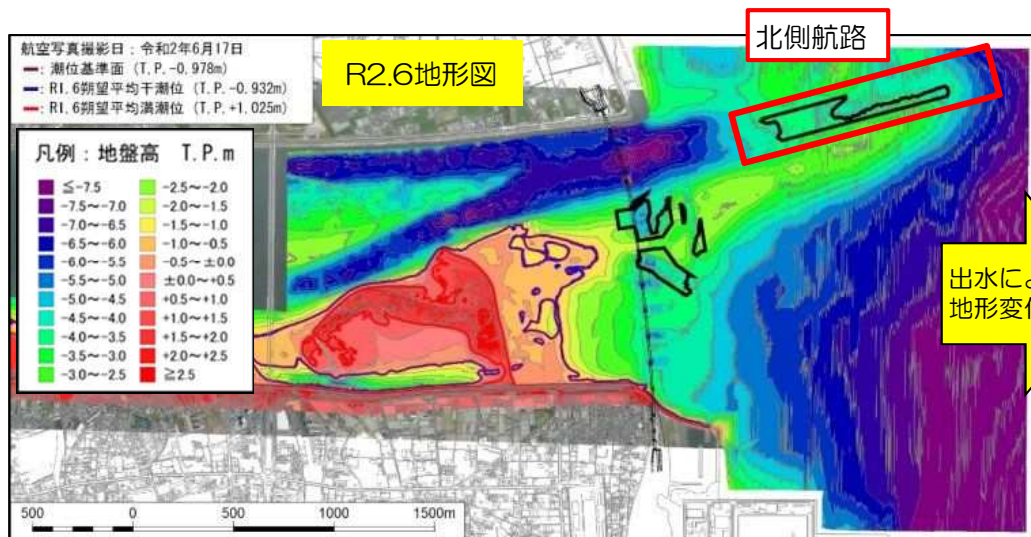
工区	純土量 (m ³)	底面余堀土量 (m ³)	側面余堀土量 (m ³)	合計土量 (m ³)	面積 (m ²)
1工区	20,252	13,835	5,046	39,133	27,670
2工区	17,342	14,318	2,129	33,789	28,635
通船航路	2,012	2,627	437	5,076	5,254
合計	39,606	30,780	7,612	77,998	61,559
北側航路	15,706	30,640	2,429	48,775	61,279
合計	55,312	61,420	10,041	126,773	122,838

※端数処理（小数点第1位を四捨五入）しているため合計が一致しない場合がある。



■ 2-6 北側航路浚渫の必要性について

北側航路は工事区域への作業船の進入路であるが、平成30年度の大規模出水（H30.7月豪雨等）に伴って河口テラスに土砂が激しく堆積しており、以降の工事では作業船進入路の喫水深確保のために北側航路浚渫の必要が生じ続けている。



10月の深淺測量は10月6日、7日に実施しており、9日に台風14号が接近したため、差分図よりもさらに堆積した可能性が考えられる。

作業船進入路浚渫
 浚渫後底面高：T.P.-3.5m

